



教育・ジェンダー・共生

—— コロナ禍を契機にみえてきた教育の本質 ——

日時 : 2020年10月18日(日) 13:30~16:30
会場 : TIME SHARING 四谷 B 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-9 第一光明堂ビル 9F
主催 : 一般社団法人 大学女性協会
形態 : ZOOMによるオンラインシンポジウム(事前申込制)と対面参加の併用
参加費 : 会員・一般 1,000円 (ZOOMによる参加・対面参加とも) 学生 無料
問合せ : 一般社団法人 大学女性協会 TEL: 03-3358-2882 (月~金の11:00~15:00)

開催趣旨

コロナ禍の影響は、医療保健の分野だけに留まらず、社会経済や私たちの生活全般に波及し、それまで死角化されてきた様々な社会問題を露呈させました。緊急事態宣言の発令よりひと月以上も前に出た一斉休校の措置によって、教育機関は混乱しました。縛られない「手作り」教育のチャンスだったはずの在宅の日々も、「おまかせ」教育に慣れきった親たちを戸惑わせました。その中で、子ども達を教育するのは本来誰なのか、教育とは何か、との本質的な問いが浮かび上がってきました。今回のシンポジウムでは、コロナ禍で見えてきた諸問題のなかでも、とくに「教育」に焦点をあてて追究していきます。

このシンポジウムの基調講演者中村桂子氏は「自然の中の人間」という立脚点に立って「生命誌(Biohistory)」を提唱、「まず命に向き合いましょう。コロナはそう言っている」と説かれます。中村桂子氏の発題を受け、私たちの「これまで」に向き合い、「これから」を創出する時間を共有したいと思います。参加者一人ひとりの行動と連携につながりますように。

基調講演 中村 桂子氏 (JT生命誌研究館 名誉館長、理学博士)

パネルディスカッション

コーディネーター 城倉 純子 (一般社団法人 大学女性協会 副会長)
パネリスト 中野 真依 氏 (神奈川学園中学・高等学校 教諭)
 本多 さくら 氏 (静岡県富士市のママさんサークル「ふじママサロン」)
 中道 貞子 会員 (奈良支部、元 奈良女子大学附属中等教育学校 副校長)
コメンテーター 中村 桂子氏 (JT生命誌研究館 名誉館長、理学博士)

プログラム

	*総司会: 森川 淳子
————— <第一部> 基調講演 —————	
13:30	開会 会長挨拶: 加納 孝代
13:40~	基調講演: 中村 桂子 氏 (休憩)
————— <第二部> パネルディスカッション —————	
	*コーディネーター: 城倉 純子
14:40~	パネリスト発題 中野 真依 氏 本多 さくら 氏 中道 貞子 会員
15:30~	コメントおよびディスカッション *コメンテーター: 中村 桂子 氏
16:30	閉会
17:00	退出完了

アクセス

- ・東京メトロ丸の内線 四谷三丁目駅徒歩1分
 - ・JR 中央・総武線 信濃町駅 徒歩11分
- 四谷三丁目交差点から新宿に向かって左側サイゼリアやサンドラッグの入っているビル



講演者のプロフィール

中村 桂子 氏 JT生命誌研究館 名誉館長



【プロフィール】1959年東京大学理学部化学科卒。同大学院生物化学修了。理学博士。三菱化成生命科学研究所人間・自然研究部長、早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院教授などを経て、2020年3月までJT生命誌研究館館長。著書に、「生命誌とは何か」（講談社学術文庫）、「自己創出する生命」（ちくま学芸文庫）、「科学者が人間であること」（岩波新書）、「中村桂子コレクションいのち愛づる生命誌 全8巻」（藤原書店）、「ふつうのおんなの子のちから」（集英社）ほか多数。人間は生きものであり自然の一部であるということを基本に置く知と社会の構築を求める日々を送っています。

中野 真依 氏 神奈川学園中学・高等学校 教諭



【プロフィール】東京工業大学理学部卒。民間企業に13年間の勤務後、教職の道に進む。教職歴6年。生徒数1200名の私立中高一貫女子校に赴任して5年目。理科(物理)担当。今年4月に始まった全国の教員ネットワーク：コロナ禍における「生徒の気づきと学びを最大化するプロジェクト」に参加。いま学校現場が抱える課題やこれからの学校の在り方について対話を重ねています。10代のうちに学んでほしいことは、一生モノの「学び方」です。そのためにも、生徒に教えずぎないこと、与えずぎないことを心がけています。

本多 さくら 氏 静岡県富士市のママさんサークル「ふじママサロン」



【プロフィール】2006年早稲田大学大学院理工学研究科修了。技術士(化学)。メーカー研究員。静岡県富士市で「親子で学ぶ」「働くママ」をキーワードにした「おやこそだちの会」を主宰。市内の子育て活動主催者による団体「ふじママサロン」では、地域の子育て環境をより良くするため活動中。コロナ禍では「学校休校・再開に関するアンケート」を実施。結果を元に教育委員会、市議会への情報提供、ディスカッションを行いました。2児の母。仕事が好き。子どもと遊ぶのも好き。実は家事は苦手です。

中道 貞子 会員 奈良支部、元 奈良女子大学附属中等教育学校副校長



【プロフィール】1947年生まれ、奈良女子大学卒。奈良女子大学附属中等教育学校(以前は、文学部附属中・高校)において、30年間理科(生物)教員として教鞭をとり、その後同校副校長を5年間務めて退職。「生きものに学ぶ生物教育」「生きものはすごい！生物はおもしろい！」を伝えることをライフワークとして生物教育に関わっています。また、2002年からはアフガニスタンの教育に関わることになり、今もバミヤンにある小さな学校と交流を続けています。現 奈良女子大学国際交流センター客員センター員

申込み・問合せ先

定員 : 定員(対面30名、ZOOM参加50名)になり次第、締め切らせていただきます。

申込 : いただいた個人情報は、今回のシンポジウムの連絡にのみ使用します。

- ・対面形式で参加ご希望の方は、Fax: 03-3358-2889 または Eメール: jauw@jauw.org でお申込みください。
- ・ZOOMでの参加をご希望の方は、件名を「シンポジウム ZOOM 参加」とし、本文に氏名、所属(会員は支部名、学生の方は大学名など)、電話番号(携帯可)をご記入の上、かならずメールで jauw@jauw.org にお申し込みください。

シンポジウム用の URL と参加用 ID、パスワードを申込時のメールアドレス宛に、後日お知らせします。

申込締切 : 10月8日(木) 払込期限 10月12日(月) 余裕をもってお申込みください。

参加費 : 下記口座に一人1,000円をお振込みください。(学生は無料) *参加費は、返却できません。
ゆうちょ銀行 口座番号 00110-7-323298 口座名 一般社団法人 大学女性協会